


学校だよりのタイトル「みついし」を引き継ぎました。羽田海岸にある「三石」に由来しています。富来小の様子を保護者・地域の皆様にお伝えしていきたいと思っています。ご意見・ご感想等、よろしくお願いいたします。



学校だより

みついし

国東市立富来小学校
令和6年12月18日(水)
第9号
文責 校長：溝部剛

「食育」で学んだことが心身の健康づくりに

富来小学校では、今年度も「食育」の授業に取り組んできました。この取り組みは、子ども一人ひとりが正しい食事のあり方や望ましい食習慣を身につけ、食事を通して自分の健康管理ができるようにすることを目標にしています。

栄養教諭の伊東侑菜先生の協力を得ながら、各学年で食育授業に取り組んできたので紹介します。
5/16 3年生は「どこを食べてるの？」の学習でした。実際に野菜を見ながら、どこの部分を食べているのかを考えました。

5/31 2年生は「野菜と仲よくなろう」の学習でした。野菜にどんな働きがあるのかやたくさん野菜を食べるといいことを学びました。

6/4 1年生は「給食ができるまで」の学習でした。給食づくりで工夫していることや大変なこと、みんなが健康でいられるように考えていることなどを学びました。

10/9 4年生は「成長期はどんな栄養素が必要なのだろうか」の学



3年生の食育授業

習でした。特に、3つの栄養素であるタンパク質・カルシウム・ビタミンが大切であることを学びました。

10/10 6年生は「栄養バランスの良い献立を考えよう」の学習でした。どんな食品にどんな働きがあるのかを給食をもとに考えました。

11/11 5年生は「バランスの良い食事について考えよう」の学習でした。様々な食品を5大栄養素ごとに分類して、バランスの良い食事について考えたようです。

12/5 3年生は「給食センターではどんな工夫をしているのか」の学習でした。おいしさプラス安心・安全を心掛けながらたくさんの工夫があることを学びました。

子どもたちには、食に関する知識を身に付け、健康的な食生活を実践することにより、生涯にわたって「食べる力」＝「生きる力」を育んでいってほしいと思います。



1年生の食育授業

各種入賞おめでとう！

【「ふるさと国東の偉人伝」読書感想文】

優良賞 6年 徳丸心優香

【「ふるさと国東の偉人伝」読書感想画】

優良賞 5年 池田詩葉

優良賞 6年 膳瀬彰紀

【第68回西日本読書感想文コンクール】

県入選 3年 宮園林

【第68回西日本読書感想画コンクール】

県入選 2年 上田陽介

県入選 2年 青井 歩

優秀賞 3年 小笠原惇

県入選 4年 田吹優晴

県入選 4年 松本陽輝

優良賞 5年 楠本陽加

県入選 5年 安達一葉

県入選 6年 森川ゆず

県入選 6年 河野友音

【第63回歯と口の健康図画ポスター】

県入選 5年 安達一葉

市入選 5年 清國ひなた

市入選 5年 小庄里咲

市入選 6年 河野友音

市入選 6年 中田春斗

市入選 6年 和田結花

【人権ポスター（小学生 中・高学年の部）】

奨励賞 6年 森川ゆず

【住宅用火災警報器設置普及ポスター】

消防長官賞 5年 和田駿太郎

【第68回JA共済書道（半紙の部）】

金賞 4年 國廣美月

銅賞 3年 花木星歩

【第43回全国豊かな海づくり大会作文コンクール】

水産庁長官賞 5年 中本美心

「豊かな自然をいつまでも」水産庁長官賞受賞

第43回全国豊かな海づくり大会～おんせん県おいた大会～作文コンクールにおいて、小学校高学年の部で水産庁長官賞を5年の中本美心さんが受賞しました。受賞作を紹介します。

豊かな自然をいつまでも

5年 中本 美心

私が住む、大分県国東市には、豊かな自然がたくさんあります。学校の校舎から「羽田海岸」という海岸や海が広がっている様子を見ることができます。反対側には田畑や山があります。そして、私の家の近くには、浜や港があります。その海の近くには「ねがいばし・かないばし」というすてきな名前がついた橋が、川と海の境目にかかっています。私は毎日、自然に囲まれながら生活しています。

その自然の中で、たくさんの思い出があります。特に思い出に残っているのは、お父さんとの思い出と学校行事での思い出です。

私のお父さんは、漁師をしています。お父さんがとってくる魚はとても美味しいです。小学一年生のころ、私は船に乗って海に出てみたくて、お父さんをお願いをして、乗せてもらったことがあります。岸から船に乗る時、船が少しはなれていて「怖い」と思い、なかなか乗れないでいました。すると、お父さんがひょいと私を抱えて乗せてくれたことを今でも覚えています。船に乗ると、思っていたよりもゆれてびっくりしました。少し乗っていると船のゆれにも慣れてきました。すると、海のおいやり力強い海の風を感じました。広い海は全てを包み込んでくれるような感じがしました。私は、お父さんのおかげで、海のいだいさに気づかせてもらいました。初めて船に乗って遠出をしたので、お父さんはいつもこんなに広い海で仕事をしているのかと思うと「すごいなあ」と思いました。そして、広い海をぐんぐん進んで行く船を

操縦するお父さんを見て「かっこいいな。」と思いました。

ほかに、私の通っている学校では、行事で羽田海岸に行くこともあります。春には1年生が入学してきた後、おむかえ遠足で羽田海岸に行きます。全校のみんなで羽田海岸に行って、海を見ながらお弁当を食べるのもとても楽しいです。お弁当を食べた後は、海辺を走り回ったり、貝殻を拾ったりと楽しむことができます。冬には、持久走大会で羽田海岸に行きます。冬の海は寒いですが、波の音を聞きながら堤防を走るのも、とても楽しいです。波の音や海の力強い風を受けると、応援されているような気持ちがしてきて、最後までがんばることができます。私にとって、いつも私たちを見守ってくれる羽田海岸がとても大切な存在になっています。

しかし、そんな大切な羽田海岸で悲しいことがあります。それは、ごみが落ちていることです。

海に行くたびに、どこから来たのか、だれが流したのか分からないごみが落ちています。「一体このごみはどこから来たのかな?」「どうして海にこんなにごみがあるのかな?」と考えると、とても悲しくなります。

そこで、私は、この豊かな自然を守るためにはどうすればよいか考えました。私たちにとって自然はかけがえのないものです。それを守っていくためには、一人ひとりが「ごみを捨てない。今ある自然を守っていこう。」という気持ちが大切だと思います。そのほかにも、ごみを拾ったり、リサイクルをしたり、環境にやさしい商品を使ったりすることだと思います。そして、環境を大切にすることの大切さを学び続けることだと思います。これから「自分に来ることは何か?」といつも考えながら、かけがえのない自然を守っていききたいです。



カレイ放流の時の5年生集合写真

富来小あれこれ

『富来小学校鼓笛隊』

来年2月8日(土)に開催される『くにさき生涯学習フェスタ』に富来小学校鼓笛隊が出演することになり、フェスタの中での紹介文を作っていた時のことです。

まず、鼓笛隊の始まりがいつなのかを調べてみたのですが、学校沿革や百年誌にもはっきりと書かれていなくて、あったのは「S38 NHK器楽合奏会入賞」という1文でした。とすれば、昭和38年より前に始まったのではと考えました。

そこで、学びの教室があった時に、学びの先生方に聞いてみることにしました。すると、なんと、橋永久美子先生から「わたしが初代の主指揮をしたんです。その当時、背が高かったこともあってすることになりました。」という言葉が聞けることができたのです。当時、友成和子

先生や土谷修先生に鍛えられたこと、「校歌」や「春の小川」など4曲くらい演奏したことなども分かりました。

さらに、玄関に飾っている大きな絵に描かれているのは、当時の交通安全パレードの様子であり、菅義隆さんが描いてくださった作品であることも分かりました。「パレードの間、ずっと指揮棒を振っていると、腕がパンパンになって大変だった。」と、当時のことを懐かしく思い出してくださいました。

2月8日のフェスタで、昭和36年から続いてきた鼓笛隊の伝統をしっかりと受け継いだ4・5・6年生が、堂々と演奏してくれるのを期待したいと思います。



玄関正面に飾っている鼓笛隊の絵